

ネパール経済ニュース（17年12月）ヘッドライン

経 済	
産業 エネルギー インフラ	<p>(1) 1日、EUは航空安全リストを更新し、引き続き、ネパールの航空会社をEU域内に乗り入れることを禁止した。</p> <p>(2) 2日、インフラ交通省、水供給・衛生省、エネルギー省は、それぞれ、ケルン（中国）・カトマンズ間鉄道及び6つの南北道路事業、カトマンズ盆地内の水供給事業、ケルン・ラスワガディ（ワスワ郡）・ガルチ（ヌワコット郡）間の送電線事業を一带一路構想下のプロジェクトとして指定した</p> <p>(3) 12日、チャメリヤ水力発電所（30MW）が完成した。なお、同水力発電所の建設地はダルチュラ郡（ネパール極西部）で、国内資金によって建設された。</p> <p>(4) 19日、ネパール石油公社（NOC）は、ガソリン及びディーゼル等を1リットルあたり1ルピー値上げした。これを受け、ガソリン及びディーゼルの販売価格は、それぞれ1リットルあたり101ルピー、88ルピーとなった。なお、NOCはLPガスの値上げはしなかった。現在のLPガスの販売価格は、1シリンダーあたり1,350ルピーである。</p> <p>(5) 21日、ネパール電力公社（NEA）関係者は、現在、インドから400MWの電力を輸入している旨述べた。</p> <p>(6) 27日、ネパール投資庁と中国国営企業であるHuaxinセメント社との間で、Project Investment Agreement（PIA）が署名された。同中国企業は、PIAに基づき1.4億米ドルの投資をネパールで行う。また、同中国企業は競争入札を経て、ダディン郡における石灰石の採掘権を既に得ている</p> <p>(7) 29日、縫製業に特化したシムラ経済特区の建設が開始された。ネパール政府は同特区のため25億ルピーの予算を充てており、2019年の完成を目指している。</p>
金融 財政 税制	<p>(1) 23日、商業省によると、2017/18年度当初4ヵ月における貿易赤字は、昨年同期比11.23%悪化し、3,101.8億ルピーになったことを公表した。</p> <p>(2) 24日、中央銀行は、2017/18年度当初4ヵ月の海外送金の受取金額が、前年同期比1.4%減の2,289.5億ルピーであったことを公表した。ネパール人海外出稼ぎ労働者の減少が原因。</p>
物価 雇用	<p>(1) 8日、中国産のたまねぎ（100トン）が、ラスワガディ国境ポイントを通じて、ネパールに輸入された。インドからのたまねぎ輸入の減少を受けた措置。インド産のたまねぎは1キロあたり90ルピーだが、中国産は60～70ルピー。</p>
貿易	<p>(1) 5日、ネパール政府は、未だに中国政府がトリブバン空港・広州白雲</p>

観光	<p>国際空港間へのネパール航空の就航を許可していない件に関して、申し入れを行う予定である。</p> <p>(2) 17日、ネパール産業省によると、2017/18年度当初4ヵ月の海外投資について、中国から48社(50億ルピー)であるのに対し、インドからは18社(30億ルピー)であった。</p> <p>(3) 22日、ネパール政府関係者は、ビルガンジのIntegrated Check Post (ICP、税関関連施設)の建設の進捗は95%である旨述べた。</p>
----	--